

青木村・国宝大法寺三重塔脇 昭和の義民 山本虎雄顕彰碑建立



《山本虎雄》

1902年青木村田沢に出生。上小地域の農民組合運動の中心的存在。戦前、満蒙開拓や軍国主義教育に反対。戦後いち早く日本共産党入党。農民組合の再建、農地改革に取り組み、村会議員を16年務める。「昭和の義民」として村民から敬愛され、今回の顕彰碑建立の運びとなった。

長野県版
第483号
2021年6月

治安維持法国賠同盟
長野県本部

〒380-8790
長野市県町593
高校会館内

連絡 竹村利幸方
TEL・026-266-0854
FAX・026-266-0864

義民の想いを受け継ぐ

青木村・坂井弘子

昔から「夕立と騒動は青木から」と言われるほど、時の圧政に對して立ち上がった百姓一揆が多かつた青木村。その村で、戦前年程前からありました。虎雄氏とともに日本共産党村議として活動した故池内巖氏が、顕彰碑にする石を探し出すなど、青木村有顕彰碑が完成し、5月21日に除幕式が行われました。

山本虎雄氏を顕彰しようとする機運は、長野山宣会を中心にして立ち上がり、20年前からありました。虎雄氏とともに日本共産党村議として活動した故池内巖氏が、顕彰碑にする石を探し出すなど、青木村有志の間でも準備が進められ長年の課題となっていました。

昨年夏、長野山宣会を中心に広く上小地域の民主団体に呼びかけ、山本虎雄顕彰碑建設委員会が発足。国宝大法寺三重塔脇に用地が決まり、碑の揮毫を北村政夫青木村長にご快諾いただき弾みとなりました。虎雄氏の長女御夫妻からの多額の寄附のおかげもあつて目標の250万円を超える建設資金が集まりました。

この顕彰碑建設運動を通して、ご遺族から虎雄氏のお人柄を直接お聞きすることができました。顕彰碑を建てることで、今は繋がる虎雄氏の業績を学び直し、伝え広げることができたことは、ご遺族の方々にとっても大きな喜びであったと嬉しく思いました。山本虎雄顕彰碑を青木村の新たな名所として内外の人々に伝え、虎雄氏の想い・活動を受け継いで民主的な活動を進めていくことが、建設運動に携わつた者の使命だと感じています。



顕彰碑除幕式の会場

三浦みをさん（木曾・塩尻支部長）

田舎と支えられて

《いつも、若々しく活力いっぱいのみをさん！自己紹介を》

五人兄弟の末から二番目。父の転勤であちこち移り住みながら貧しくとも温かい家庭で育ち、父の背中を見ていて小学校の先生になるつて小さい頃から決めていた。

教師になつてからは、子どもたちがかわいくてかわいくて。結婚して子どもができたからが鬱い。子どもができたら辞めるのが当たり前と、毎日校長室に呼ばれ説得された。

そんな時、夫が日本人学校に行きたいと。教師をやめ、子どもたち三人連れて行つたのが中米コスタリカ。そこで生まれたのが四番目の史朗。史朗9歳の秋、ブランコの事故で不自由な体となる。史朗を支えるのがわたしの使命と思って生きてきた。史朗20歳の秋、夫協一が癌で他界。夫がなくなつた時、今まで感じたことのなかつた史朗を抱えていることの重みがズシンと肩にのし掛かってくる思いでした。それも時と共に薄れ史朗と二人あちこちに旅して穏やかに暮らせるようになつた。中でも15回に及ぶモンゴルへの乗馬の旅は、かけがえのないすてきな経験だつた。史朗を支えているつもりが、何時しかわたしの方が史朗に生かされているのだと気づく。

イスラエルの「旅立つ息子へ」という映画をみた。自閉症の息子と父親のおはなし。自分と重なることがたくさんで、今私が一番に考えなくてはいけないこと、子ばなれのこと。

2021年6月15日 月刊「不届」No. 564付録

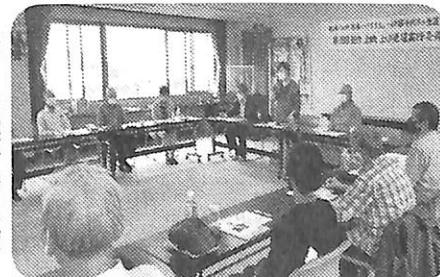
「伊藤千代子」第3回実行委員会 小更埴支部 嵐主史さんをお招きして 大石信之

6月19日（土）第3回映画「伊藤千代子」製作上映小更埴実行委員会を開催。コロナ禍でも、34名もの参加で会場は賑わいました。

高村京子実行委員長から「戦前の暗黒時代、最後まで信念を曲げずたたかいぬき、24歳の生涯を閉じた伊藤千代子の生き方は、今、生きる多くの人に勇気と感動を与える」とあいさつ。

嵐圭史さんから「治安維持法の時代と伊藤千代子」と題して60分、前進座の歴史と重ねながらお話されました。とりわけ次代を担う若者に上映製作運動への参加を働きかけることが大事だと強調されました。

6月19日現在の募金は延べ134人、35万5400円。100万円の目標に対して35・5%です。これからが正念場。いま、国民救援会上小支部では役員会で伊藤千代子を議題に取り上げ、「8月の総会で訴えと会場募金も実施するなど組織として一定額の募金に責任を持つこと」を決め、生健会では、学習会で伊藤千代子のPRDVDを視聴し、会員に向け募金活動を進めて頂くなど、広がりを見せてています。実行委員会参加の皆さんを取り組みに依拠して、元気よく、根気よく取り組んでいきたいと思います。



この人紹介



熱心な討議で時間延長 —北部支部総会開催—

北部支部 遠山茂治

北部支部の2021年度総会が、6月22日、中野市人権センターで開催された。活動期間を少しでも長くとの配慮で去年度より早めの設定。コロナ対策のため二部屋続きの会場は人数制限が17人。そのため参加者は役員と3地区から1～2名の参加者。来賓として県本部竹村事務局長を加えて15名による総会となつた。会議は、DVD「わが青春つくるとも」を観たあと、亡くなられた高橋甚治さんへの黙祷から始まり、各種提案のあと討論を。司会のすすめもあり全員発言。

討論では会費、カンパは県上納では100%だが会計収入では100%でないことの解決が必要。若い人たちへの国賠同盟への理解と協力を得るための施策、3地区各1本の同盟旗の利用とさらなる活用、機関誌「不届」（県版）の配布がもつと早くできないかななどその後、形式的な採決なしに、提案は了承された。

「以心伝心」というのか、いかにも北部支部らしいやり方、最後に支部長先唱による「团结頑張ろう」で閉会した。

余談になるが討論に熱が入り、つい時間が延びて、会場費割り増し料金も請求されて会場を出た。

県内の動き



衆院長野3区 神津健さんが出馬表明



国民投票法の改定が、6月11日、参院本会議で可決成立しました。県憲法会議と護憲連合は、6月9日と11日、長野駅前で国民投票法の改定に反対と抗議の街頭宣伝を行いました。

現在の投票法には重大な欠陥があります。
①最低投票率は何の規定もない。②テレビCMやネット広告は制限なしで、財力のあるものは大宣伝できる。立民はそれらを3年内に法制化する、として修正案を提出。

自民の本音は、国民投票法の改定を布石に、改憲案を憲法審査会で審議することを狙っています。政府・与党は9条改憲、非常事態条項の設置へ、一気に走ろうとする危険な策動です。

次期衆院選挙長野3区で、立憲民主党から神津健さん（44）が立候補することを、6月18日正式に表明。立憲民主党本部も党公認を決定しています。

神津さんはJGの企画調査員として、アフリカのケニア等で勤務。羽田孜元総理の甥。近く信州市民アクションと交

流・懇談する予定です。

改定国民投票法成立 自民の本音 9条改憲への布石

国民投票法の改定が、6月11日、参院本会議で可決成立しました。

県憲法会議と護憲連合は、6月9日と11日、

長野駅前で国民投票法の改定に反対と抗議の街頭宣伝を行いました。

現在の投票法には重大な欠陥があります。
①最低投票率は何の規定もない。②テレビCMやネット広告は制限なしで、財力のあるものは大宣伝できる。立民はそれらを3年内に法制化する、として修正案を提出。

自民の本音は、国民投票法の改定を布石に、改憲案を憲法審査会で審議することを狙っています。政府・与党は9条改憲、非常事態条項の設置へ、一気に走ろうとする危険な策動です。

次期衆院選挙長野3区で、立憲民主党から神津健さん（44）が立候補することを、6月18日正式に表明。立憲民主党本部も党公認を決定しています。

神津さんはJGの企画調査員として、アフリカのケニア等で勤務。羽田孜元総理の甥。近く信州市民アクションと交

永田廣志から学ぶ

最終回（6回）

—没後74年に寄り添つて—

中信支部 島崎建代

（六）永田の伊藤正一との出会い

伊藤は、「研数専門学校」に入学。終戦後、伊藤は「民科」（民主主義科学者協会）ができたことを知り、東京・神田の「民科」の事務所を訪問します。そこで、故郷・松本に「民科」の本部幹事がいることを紹介され、急いで松本に帰り永田と「劇的」な出会いをします。そして、長野県で初めての「民科」の支部を

松本（事務所は伊藤宅）に創ります。小岩井源一（松本中学の同級生）を責任者、伊藤正一を事務局長の体制で。

松本・上野簿記学校での講演は伊藤が講師を務め、約200人が集まり『原始から原子まで』原子物理学に力を入れ、図解入りで説明（『ななかまど』16号・伊藤正一発行）。伊藤が松本にいる時は、毎日のように永田の借家に足を運びます。「私と伊藤さん双方から哲学の話し、物理学の話が出てきて、たちまち楽しい話が始まった」（前出16号）と回想しています。

国賠同盟の組織に加盟され、同盟の発展のためご尽力くださったことに感謝申し上げます。ご冥福をお祈りいたします



最後に、永田は短い生涯の中で多くの著書、訳書、評論を世に出しました。ゆり婦人は「もう10年生かしたかった」と惜しんでいます。日本の唯物論哲学の「礎」となり、今も生きています。唯物論哲学の開拓者・永田廣志に学び、社会変革の事業に貢献したいと思います。《完》

「三侯小屋」を開き、「伊藤新道」を独力で造り、「勤労者山岳会」の創設者。伊藤正一著『黒部の山賊』（実業之日本社）等。

「民科」は一九四六年一月に結成され、その宣言は「日本封建主義・軍国主義は・・国民の知識の武器たる真正科学を絞殺した。・・・わが民主主義科学者同盟はかかる使命の達成に当たり、進歩的科学者、技術者、教育家その他協会の目的に直接参与せんとする広汎な人々を結集せんことを期する」（『日本戦後史資料』・新日本出版社）。永田は同協会の幹事を務めます。

- ▼ 土田はるみさん（諏訪支部） 2021年4月19日 97歳
- ▼ 高橋甚治さん（北部支部） 4月24日 96歳